

diamond.jp

東証プライム脱落危機！流通時価総額が低い企業ランキング【卸売28社】1位は五輪で話題沸騰の「あの会社」

ダイヤモンド編集部 田上貴大: 記者

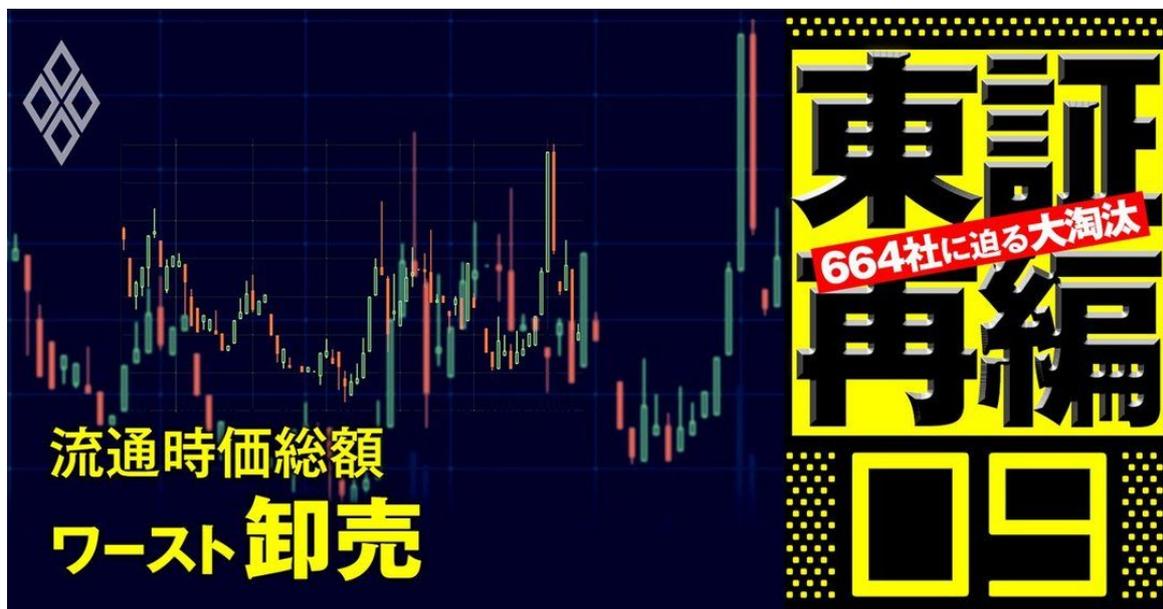


Photo:Stefano Madrigali/gettyimages

東証1部からプライム市場に移行するための条件として、「流通株式時価総額100億円」という基準が設定された。業種ごとの流通株式時価総額ランキングを作成すると、飲食店不振の影響が大きい卸売業では、28社がプライム落ちの危機に直面していた。特集『[東証再編 664社に迫る大淘汰](#)』（全25回）の#9では、その顔触れを紹介する。（ダイヤモンド編集部 田上貴大）

7月25日。日本のスポーツ界が歴史的瞬間を迎えたさなか、「ある会社」が予期せぬ形で話題沸騰となった。

東京五輪からの新競技であるスケートボードの男子ストリート。東京都江東区の有明アーバンスポーツパークで開かれた決勝戦で、日本の堀米雄斗選手が金メダルを獲得して初代王者に輝いた。

このとき、試合とは関係ないところで注目を浴びたのが、水産物の卸売りから冷蔵物流サービスまでを兼ね備える総合的な水産企業であるハウスイだった。表彰式の中継で江東区にある本社が映り込み、「ハウスイ」という社名が長時間にわたり放映されたのだ。

この宣伝効果からか、翌26日にハウスイの株価は1割近く高値を付ける。テレビで連日CMが流れるスポンサー企業やスポーツメーカーに並び、ハウスイは「五輪銘柄」として名を連ねた。

ハウスイは、業績でも好調ぶりを見せている。新型コロナウイルスの感染拡大で外食産業は甚大

な被害を受けたが、内食化の需要増加に支えられた。その結果、**2021年3月期**の純利益は、前年比**75.9%増**の**7.9億円**まで伸びている。

かくして上げ潮に乗っているかに見えるハウスイだが、それをかき消すほどのマーケットの“荒波”にのみ込まれようとしている。来年**4月**に控えた東京証券取引所の市場再編だ。

東証は、**1部**から新たな最上位のプライム市場への移行基準の一つとして、発行済み株式数と流動性の高い株式比率で計算される「流通株式時価総額」が**100億円**以上というバーを設けた。

だが、ダイヤモンド編集部試算によると、東証**1部**上場のハウスイの流通株式時価総額は**13.8億円**にとどまっている。プライム市場への移行を望むならば、企業価値の向上のための施策を打つ必要がある。

ハウスイだけではない。東証の定義にのっとりダイヤモンド編集部が流通株式時価総額を算出し、東証**1部**上場企業のうちワースト**300社**を抽出したところ、ハウスイと同じ卸売業の企業**28社**がランクインした。これら全ての企業に今、プライム落ちの危機が迫っている。

なお、前出のハウスイの順位は同業種でワースト**1位**だった。他にはどのような企業がランクインしたのか。早速次ページで、ハウスイを含めた卸売業**28社**の実名を紹介しよう。

次のページ

卸売業の流通時価総額ワーストランキング、**2位**はあの「鬼滅」銘柄！

続きを読むには...

この記事は、会員限定です。

無料会員登録で月**5件**まで閲覧できます。

[無料会員登録](#)[有料会員登録](#)

会員の方は[ログイン](#)

ダイヤモンド・プレミアム(有料会員)に登録すると、忙しいビジネスパーソンの情報取得・スキルアップをサポートする、深掘りされたビジネス記事や特集が読めるようになります。

- オリジナル特集・限定記事が読み放題
- 「学びの動画」が見放題
- 人気書籍を続々公開

- The Wall Street Journal が読み放題
- 週刊ダイヤモンドが読める

[有料会員について詳しく](#)